



ウェスターだより 西部地域住民自治協議会

第5号 平成23年7月29日

発行者 住民自治協議会会長 野口良孝
西部市民サービスセンター内事務局 電話 828-4217

平成22年度・臨時総会開催

平成23年3月22日（火）11：00～西部市民サービスセンター3F大会議室において臨時総会が開催され下記の議案が審議されました。

- (1) 平成23年度事業計画（案）について
- (2) 平成23年度予算（案）について
- (3) 会則の一部改正について
- (4) 役員を選任について

その他

- 1) 地区別実地弁償の支給について
- 2) 代議員の改選について

各議案とも、満場一致にて採決されました。

平成23年度・定期総会開催

平成23年5月31日（火）14：00～西部市民サービスセンター3F大会議室において定期総会が開催され下記の議案が審議されました。

- (1) 平成22年度事業報告について
- (2) 平成22年度決算報告について
- (3) 監査報告
- (4) 補正予算（案）の承認について
- (5) 理事の選任について
- (6) 代議員の選任について
- (7) 「事務員就業規則」の一部改正について

以上の議案につき、理事、代議員40名出席での審議の結果、満場一致にて可決されました。

定例文化講演会

平成23年1月15日（土）13：30～15：00
ウェスター 3F会議室において
「森川源三郎とその時代」

と題した講演会が開催されました。

講師の新野直吉先生より、地元新屋出身で秋田県の「農業三大人」の一人 森川源三郎翁について、その生い立ちや時代背景を軸に、翁の数々のご功績を詳細に講義頂きました。

偉大な先人の究極のエコロジー精神と実践に多くを学び、一層郷土の偉人を誇らしく思いました。



新屋日吉町の生家後にある遺跡「余楽庵」



森川源三郎（1845～1926）

秋田市新屋生まれ、農作物の品種改良や農家経済の立て直し等に尽力し、エコやリサイクルも唱えるなど、秋田県の農業発展に大きな功績を残された。

定例文化講演会

平成23年7月24日（日）13：30～15：30
ウェスター 3F会議室において
「本多上野介一件と新屋村の歴史」

と題した講演会が開催されました。

講師：秋田大学教育文化学部 教授 渡辺 英夫先生



関が原の戦いと由利郡

1. 佐竹義宣の養子義直
2. 本多上野介正純の改易
3. 本多正純本庄領没収後の由利郡
4. 雄物川の川船番所

ご準備頂いたレジメに従って戦国時代の新屋村の歴史の変遷について、詳しく解説して頂きました。

由利郡新屋村は会津藩上杉家の領地に属していたが、関が原合戦の後には、徳川方家臣の「本多上野介」と久保田藩主佐竹氏の思惑と政治手腕で、佐竹氏の領土に変わっていく経緯について詳しく知ることができました。

90余名の聴講者は熱心に聞き入り、郷土の歴史背景を知ることができたと大好評でした。

ウェスター ファミリー コンサート

平成23年6月26日(日) 13:30～ 1F多目的ホールにおいてファミリーコンサートが開催されました。プログラム構成は

第1部

- ♪ You Raise Me Up
- ♪ 彼方の光
- ♪ ありがとう
- ♪ キセキ
- ♪ 祈りのシチリアーノ

第2部

- ♪ アンパンマンのマーチ
- ♪ ワンノートサンバ
- ♪ ルイーザ
- ♪ 世界がみなあなたのようだったら
- ♪ テネシーワルツ

小野事務局長の司会進行によって、コンサートの開演コール。続いて藤澤副会長による演奏者のプロフィール紹介と、グランドピアノの披露及びウェスター常設となった経緯が説明されました。

■佐藤聡子氏 (バイオリン)

秋田市新屋比内町出身、日新小学校、秋田西中学校、秋田高等学校、東北大学卒業。在学中より演奏活動をスタート。2005年2月から中通のイヤタカにてコンサートシリーズを主宰。2008年5月ジャズユニット「HappyToco」を結成。

■榊原光裕氏 (ピアノ)

仙台市出身。東北大学卒業後、米国バークリー音楽大学を主席で卒業。仙台駅の発着メロディの作曲、定禅寺ストリートフェスティバルの立ち上げ等、大型プロジェクトの企画・構成・音楽監督を広く手がけている。佐藤聡子氏と組んでいるユニット「HappyToco」ではピアノ演奏のみならず、すべての楽曲のアレンジを担当している。



♪ 祈りのシチリアーノを熱演中の聡子さん。



郷里に帰って皆様の前で演奏するのが一番の楽しみです。



開演前のリハーサル&ミキシング調整中のお二人



サンバの発祥とリズムについて解説する榊原さん。



オープニングは♪ You Raise Me Up



日新小学校の後輩から花束を贈られて、嬉しそうなお二人。この後アンコールに応じて2時間に亘る演奏会は会場の皆さんからとても喜ばれました。

活動サークル訪問シリーズ

vol.7 ソーイングサークル (洋裁)



●代表 佐々木 和子

新屋婦人会の洋裁リフォームから始まった当サークルは今年5年目を迎えました。この間、当時からのエコを求める心意気は変わることなく、たんすの中の祖母や母の時代の着物、若くてホッソリしていたころの自分の洋服などを、いつくしみながら次々と新しい物に変身させています。

月に2回昼食をはさんで和気藹々、生活情報をおり混ぜながら和やかな制作時間が流れます。

婦人会当時からの佐々木久美子先生に、14名それぞれの技量に合わせた判り易いご指導を戴いています。

成果のほどはウェスターまつりでの作品発表のとおりですが、今ではウェスターを飛び越えて佐々木先生の発表会に参加することも大きな励みであり、楽しみになっております。

vol.8 書楽会



●代表 戸松 美保子

書楽会は現在、会員8名の小さいサークルですが平成2、3年頃は20名を越す会員がいたそうです。

書に親しみ、同好の士の親睦を図ることを目的に設立されました。練習は毎月第2、第4月曜日の午後です。作品は年一回のウェスターまつりに出品、展示しております。練習の合間には野菜作りや漬物、お菓子づくりを教えあったり、また持参したりして楽しいひとときを過ごしています。

基本もあまり気にしない私たちですが、筆を持った時の緊張感がたまらなく、これからも億劫がらずに続けたいと思っております。

vol.9 あらやさくらくらぶ



●代表 高橋 竹志

昼間仕事をしていて夜しかサークル活動ができない人たちに声をかけて、平成15年から美短付属高等学院でコート3面を使って楽しんで参りました。

全盛期には30人を超える会員がいました。

諸事情により年々会員が減って今では10人になってしまいました。

現在はウェスターだけで数人で和気あいあい楽しんでいますが、もう少し会員が増えたら良いなと思っております。

初心者大歓迎ですのでミニテニスに興味のある方は是非お立ち寄りください。

会員の中には80歳の高齢者もおります。

どなたでも簡単に習得できるミニテニスは生涯スポーツとして最高です。

vol.10 すみれ会



●代表 高島 洋子

私たち「すみれ会」は、ニュースポーツ ミニテニス愛好者の集いで、週1回活動しております。

会員は20名。健康づくり、体力づくりを目指し、心地よい汗を流しながら、ストレス解消にも役立っております。

ミニテニスの魅力は、仲間同士がわきあいあいと練習しながらお互いの技を磨き、親睦を深めながら体力維持増進ができることです。

ミニテニスというスポーツに出会った同好の士が集うことで、地域の絆を強めております。

西部地域のカメラ散歩

史跡探訪シリーズ vol. 3



◆^{ほしよく}保食神社 (所在地：秋田市浜田字自在山48番地)

浜田小学校校門に隣接した道路に面した場所に大きな鉄筋コンクリート製の鳥居があり、社殿への石段が長く連なっている。その奥まった小高い自在山の頂きに鮮やかな色彩の門柱を構えた保食神社が佇んでいる。地元で伝わる話では、この社殿は昔、元の龍宮山海道寺観音堂を再建したものであり、雲崎(内浜田館の丸)の城主小野筑後守(秋田安東氏の配下)草創の観音堂を大森大明神と唱えたもので大森山の嶺に在った。

その後、雲崎城が落城となり祭祀を営めなくなり、廃社となっていたが、ある年地元の漁民が引きあげた網の中に光明燐欄たる大悲観音像を発見、その尊体を観音堂と号し小野氏の旧蹟を継ぎ一字を建立し、村人こそって尊崇したところ漁労無難と豊漁に靈験あらたかであったため一郷の守護神として祭られたと伝えられている。天保8年(1837)の火災で社堂及び祭神を消失しているため詳細不詳であるが、保食神社の社名からくる祭神のルーツは保食神「うけもちのかみ」(豊受大神)で、農耕の神(穀物神)であるという。「日本書紀」神代四神出生章にある天照大神の配下にあつて稲などの五穀のほか魚類・獣類の食料、牛馬などの農耕用家畜、蚕・桑などの副産物までも含む豊穰靈格といわれ、神代の時代に遡る靈神であると伝えられている。時代の流れで現在は聖観音像を祭祀されているが、典型的な神仏混交祭祀のルーツともいえる存在で、以来今日まで地元民の厚い崇敬を得ている。

御祭神は保食神(うけもちのかみ)、馬頭観音で、御神徳は五穀豊穰、商売繁盛、交通安全、航海安全、諸悪消除、開運招福、動物守護とある。

例祭日は6月14、15日

とくに釣り人には、豊漁のご利益があると言われていたので是非参拝してみたいかたがでしょうか。

社堂は常時解放されているので何時でも自由に参拝できますが、火災防止のため火気には充分にご注意ください。

西部地域サークル連絡協議会会長 阿部 利夫



皆様 こんにちは。4月から会長を仰せつかりました阿部です。この会は80数サークルと多くのサークルが活発な活動をされておられること本当に心強く思います。私は甚だ微力ではありますが、前会長様に慣い、皆様の活動を少しでもより良くサポート出来ればと願っております。

東日本大震災では、未だ多くの行方不明者の方々があり、更に福島原発事故により故郷を後にしなければならない多くの人々を思うとき胸が痛みますが、私たちが与えられた環境の中で一生懸命元気を示すことで、地域が活性化され、それが被災された人々へも元氣として伝えられればよいと思います。いつも明るく楽しいサークル活動、そしてサークル相互間の融和と協調を図りながら頑張っていきたいと思っておりますので、皆様の絶大なご協力をよろしくお願い致します。最後に地域にお住まいの皆様をはじめ、サークル連絡協議会会員の皆様の益々のご健康とご発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

天災は忘れたころに

西部地域住民自治協議会会長 野口 良孝

この度の未曾有ともいえる東日本大震災は、まさに晴天の霹靂でありました。幸いにも当地は被害も軽微で済みましたが、たかだか30時間余の停電で、いかに便利な生活に慣れきっているか思い知らされました。

大自然の猛威にただただ逃げ惑う人々、大切な家屋を失い茫然自失の人々、そして多くの犠牲となられた方々に対し衷心より哀悼の意を捧げ、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げる次第であります。

国難とも称せられるこうした事態にこそ、官民一体となってあらゆる組織を総動員して立ち向かわねばならないと思います。特にこの事に懸命に立ち向かわれた大勢のボランティアの皆さん、とりわけこの惨状を見ごぞせないと思県からも大勢の方が応援に駆けつけられたと聞きました。

また近隣各県からの避難者に対しても、我がウェスターで活動しているサークルの皆さん方が慰問に駆けつけ、感謝されていると聞いております。こうした尊い行動こそが被災地への何よりの支援であり、復興への勇気と希望を与えるものと確信しております。改めて心より敬意を表するものであります。

こうした災害時に一番力を発揮するのは人と人の絆にほかなりません。この度も多くの人命がこれで救われたと報じられております。人間は一人では生きて行かない証であります。常日頃から絶えず近隣に声を掛け合い、絆を確かめ合うことの大切さを改めて痛感したことであります。

WESTER

◆お知らせコーナー◆

◎ウェスターまつりのご案内

平成23年9月23日(金)～25日(日)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ● 作品展ネ 9/23、24、25 | ● ダンスパーティー 9/23 |
| ● チャリティバザー 9/24 | ● お茶会 9/24 |
| ● 軽食コーナー 9/24、25 | ● 講演会 9/24 |
| ● 芸能発表会 9/25 | ● 縁日コーナー 9/25 |